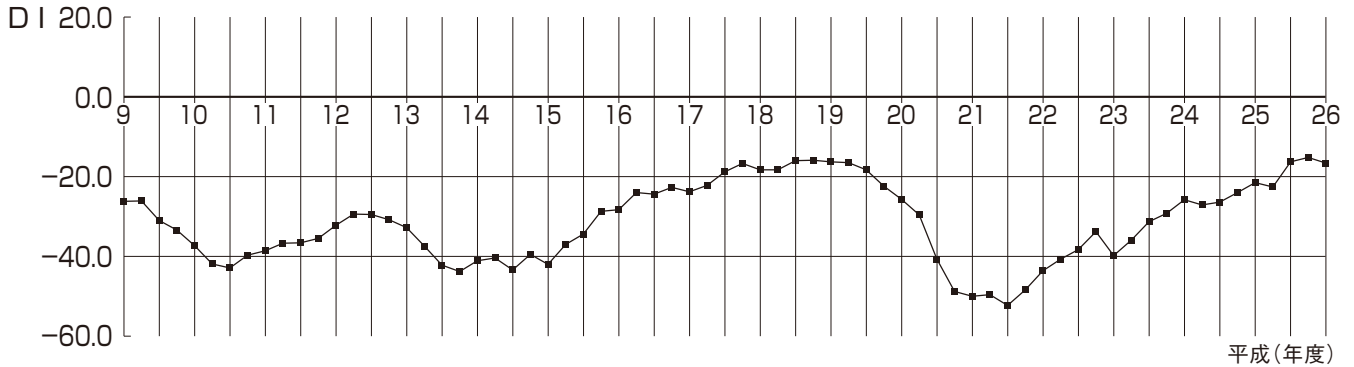


都内中小企業景況・6業種合計



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合)は-16.6(前期は-15.2)と前期に比べ1.4ポイント悪化した。業種別に見ると、不動産業でやや明るさが見え、卸売業、サービス業で若干厳しさを増し、建設業でわずかに好調感が縮小した。

来期は製造業、卸売業、小売業、サービス業で悪化幅が縮小すると予想している。

| | 前期 | 今期 | 増減 | 来期予想 | 今期との増減 |
|-------|-------|-------|------|-------|--------|
| 製造業 | -16.8 | -16.8 | 0.0 | -15.3 | 1.5 |
| 卸売業 | -12.9 | -17.9 | -5.0 | -12.6 | 5.3 |
| 小売業 | -30.0 | -30.9 | -0.9 | -28.6 | 2.3 |
| サービス業 | -13.3 | -16.5 | -3.2 | -13.2 | 3.3 |
| 建設業 | 8.7 | 6.8 | -1.9 | 6.8 | 0.0 |
| 不動産業 | -5.0 | -3.2 | 1.8 | -2.6 | 0.6 |
| 総合 | -15.2 | -16.6 | -1.4 | -14.4 | 2.2 |

●製造業

業況は前期同様の厳しさが続いている。売上額・受注残は前期並の減少が続き、収益はわずかに減少を強めた。

価格面では、販売価格は前期同様の低下基調で推移し、原材料価格は前期並の上昇が続いている。

業種別に見ると、「化学工業」は非常に大きく好調に転じた。「輸送用機械」は大幅に改善し、「一般機械」「精密機械」「ゴム製品」は多少厳しさが和らいだ。一方、「建設用金属」「木材・家具」はかなり低調感を強め、「電気機械」「プラスチック」「食料品」「プレス・メッキ」「金属製品」はやや業況感が落込んだ。

来期の業況は水面下ながら悪化幅が縮小すると予想している。売上額・収益は減少に歯止めがかかり、受注残は今期同様の減少幅で推移するものとみている。

●卸売業

業況は、やや低調感を強めた。売上額・収益はともに減少幅・減益幅が若干拡大した。

価格面では、販売価格はわずかに上昇傾向を強め、仕入価格は幾分上昇幅が縮小した。

業種別に見ると、水面下ながら「食料品・飲食料品」がやや上向いた。一方、「建築材料」はわずかに悪化幅が拡大し、「機械器具」「繊維・衣服」は大幅に厳しさを増し、「鉱物・金属材料」は非常に悪化が強まった。

来期の業況は、水面下ながら持ち直すと予想している。売上額・収益はともに減少幅・減益幅が縮小するものとみている。

●小売業

業況は、前期並の悪化幅で推移した。売上額・収益はともにやや減少幅・減益幅が拡大した。

価格面では、販売価格は大きく好転し、仕入価格はかなり上昇傾向を強めた。資金繰り・借入難易度は前期並の苦しさで推移した。

業種別に見ると、「飲食店」が水面下ながらわずかに持ち直した。一方、「ガソリンスタンド・燃料」「書籍・文房具」は幾分低迷し、「自転車・自動車」「家電・家庭用機械」「家具・建具・じゅう器」「カメラ、時計・眼鏡」はかなり厳しさを増した。

来期の業況は、悪化幅が縮小すると予想している。売上額・収益はともに持ち直すものとみている。

●サービス業

業況はやや厳しさを増した。売上額、収益はわずかに減少幅・減益幅が拡大した。

価格面では、料金価格は多少好転し、材料価格は若干上昇傾向を強めた。

業種別に見ると、「情報サービス・調査・広告」は大きく悪化に転じ、「洗濯・理容・美容」は多少深刻さを増し、「自動車整備・駐車場」は幾分厳しさが和らいだ。

来期の業況は水面下ながら上向くと予想している。売上額・収益はともに減少幅・減益幅が縮小するとみている。

●建設業

業況はわずかに好調感が縮小した。売上額・受注残は若干増加傾向が一服し、施工高はかなり増加幅が縮小した。収益はやや伸び悩んだ。

価格面では、請負価格、材料価格は前期並の上昇が続いた。

業種別に見ると、「職別工事」は前期並の良好感が続き、「総合工事」はやや好調感が後退し、「設備工事」は幾分上向いた。

来期の業況は今期並の良好感が続くことと予想している。売上額・受注残・施工高は伸び悩み、収益は今期同様の水準で推移するとみている。

●不動産業

業況は水面下ながらわずかに改善した。売上額・収益ともに減少幅・減益幅が幾分縮小した。

価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格は上昇がやや強まった。

業種別に見ると、「建売・土地売買」は好調感が幾分後退した。「不動産代理・仲介」は水面下ながらかなり改善した。

来期の業況は、今期同様変化なく推移すると予想している。売上額は好転し、収益は今期同様の水準で推移するものとみている。